

No.181

令和2年8月18日

【発行】

豊橋市立青陵中学校 校長室

t-asahi@toyohashi.ed.jp

Rising Sun



残暑お見舞い申しあげます



やっぱりあつというまに過ぎてしまいました。今まで経験のなかった、たった2週間の夏休み。短くなっただけでなく、8月6日に愛知県独自の緊急事態宣言が発出されたり、豊橋市内で新型コロナウイルス陽性者が確認されたりして、夏休み以前にも増して、どこかへ出かけるというわけでもなく、再び“巣ごもり”生活を強いられてしまいました。といっても、例年お盆はどこかに出かけるわけでもありませんけどね。始業式でお話したように、ガラガラと太陽が照りつける中、これまでできずにいた庭仕事に精を出しました。皆さんはどのように過ごされたでしょうか。

ともあれ、例年より2週間も前倒しされて学校が再開されました。まさに残暑厳しい中での再スタートです。新型コロナウイルス感染症対策に万全を期しつつ、熱中症にも十分ケアをしながら教育活動に勤しみたいと思います。どうかよろしくをお願いします。

第2回定期テストに始まり、3年生の修学旅行、1学期から延期された体育祭、部活動の新人体育大会、1年生の自然体験学習、青陵祭、学校訪問等々、まさに2学期は行事でんご盛りの学期となります。足元をしっかりと見つめつつ、学期末や学年末までを見通して、計画的に教育活動を進めていく必要があります。

さて、学校に戻ってきた生徒たちの様子はいかがでしたでしょうか。18歳未満の自殺者の数は、9月1日が突出して多いという統計データがあります。学校再開にあたってのプレッシャーや精神的動揺、人間関係上の不安等が原因として考えられています。今年は例年とは違い、長期休業期間が短かったので、さほど心配することもないように感じますが、目の前にいる「この子」のささいな変化を見逃さないよう教育的感性を研ぎ澄ませて日々過ごすようお願いします。そして、とらえた変化は一人で抱え込まず、少なくとも学年内、場合によっては全校で情報共有して対応していきたいと思っています。よろしくをお願いします。

我が家の東隣の家は、現在新築中です。梅雨が長かったことも影響しているのでしょうか。毎日大工さんや瓦職人さんがやってきては作業をしています。お盆の期間中もずっと作業をしていました。休みなく働いていることもさることながら、あの酷暑の中を一日中作業していることに頭が下がります。庭仕事をしてた私は、正午頃から日が傾き始める午後3時過ぎまでは、さすがに外に出て作業をする気にはなれませんでした。私がエアコンのきいた部屋で涼んでいる間も、大工さんたちは黙々と作業を続けていました。今はやりの小さいファン付きの作業着を着ているとはいうものの、暑さを感じないわけはありません。ほぼ毎日、午前7時過ぎから午後6時近くまで働きづめでした。こういう姿を「プロ」と呼ぶんでしょうね。

「自分はどうかの」と振り返ってみました。夏の暑さや冬の寒さに弱音を吐いていなかったか？温暖化の影響で猛暑日は確実に増えました。でも、夏は暑いのがあたりまえです。「暑い、暑い」と言っても暑さが和らぐわけではありません。冬の寒さもまた然りです。

新型コロナウイルス感染症の影響により、いつもなら授業のない期間に授業をしなくてはなりません。教室にエアコンが設置されたとはいえ、感染症対策のため窓を閉め切ることができず、エアコンの恩恵を100%享受できない状況の中での授業です。でも、この酷暑の中、エアコンのない中で汗を流しているかたがたを思えば、恵まれた環境だということもできます。

なんだか説教じみてきてしまいましたが、説教ではなく激励だと受け止めていただけるとありがたく思います。

感染症対策と熱中症対策を両立させていかなければなりません。この暑さもたぶんもうしばらくの辛抱です。「三とる」（距離をとる、マスクをとる、水分をとる）のバランスを考慮しつつ、この酷暑を乗り越えていきましょう。